



システム・テクノロジー・アイTOB資料 (2015/11/9)



株式会社ブイキューブ (TSE:3681)



株式会社システム・テクノロジー・アイ (TSE:2345)

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。



© V-cube, Inc. All Rights Reserved.

大手金融機関を含む 国内の大手企業に導入されている 二部上場EduTechカンパニーを買収 iStudy[®] システム・テクノロジー・アイ EduTech強化を更に進める

年内に買収完了予定とし、買収完了を待たずして共同での事業展開を開始し、企業におけるナンバーワン研修インフラを目指して参ります。

株式会社システム・テクノロジー・アイTOBサマリー



総括

大手への実績豊富な上場EduTechカンパニーをTOB

価格

1株744円、総額最大約10億円、PBR約1.2倍
(総資産の大半が現金, 約8億円)

業績

2015年3月期実績

売上5億円強、52百万円営業損失。黒字化目処。
(単体。子会社は売却前提)

戦略

上場維持。EduTech強化の中核。シナジー追求

株式会社システム・テクノロジー・アイについて

株式会社システム・テクノロジー・アイについて

18年の歴史を持つ、教育プラットフォームの開発・提供会社
金融機関などを中心に大手企業の研修インフラとして採用されている実績



会社名	株式会社システム・テクノロジー・アイ
(英語名)	System Technology-i Co.,Ltd.
設立	1997年6月12日
資本金	350百万円
決算期	3月
資本構成	SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社 54.05% 松岡 秀紀 (現社長) 11.03%
代表者	代表取締役社長 松岡 秀紀
関連会社(100%子会社)	株式会社SEプラス (約2億円でSEホールディングスへ売却合意)
従業員数	38 (2015年3月末現在、取締役・監査役除き、派遣社員含む、S E プラス除く)
上場市場	東京証券取引所第2部 (2345)

※9/30時点の、自己株式数を除いた発行済株式総数を分母に算出

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 5

売却主 (旧親会社) について

純粋持株会社

傘下に出版、スマホゲーム、ネットカフェ、技術者派遣、研修を持つ



会社名	S Eホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社
設立	1985年
上場市場	東証JASDAQスタンダード
代表者	速水 浩二
従業員数 (連結)	257人
事業規模	2015年3月期売上：71.8億円
STI社との関係	2007年にSTI社を子会社化

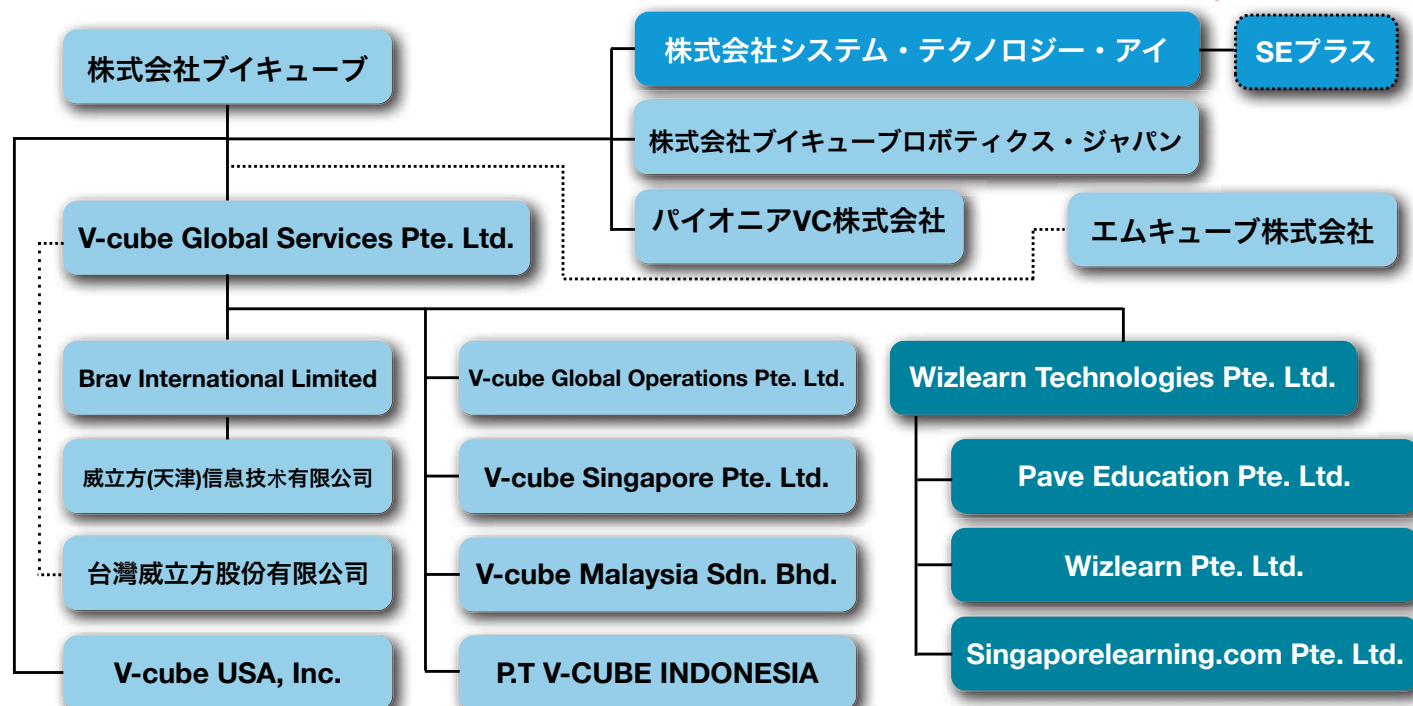
© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 6

—— 連結子会社
 持分法適用関連会社
 関連会社

V-cube Group の全体図（買収後）

本買収により、全18社のグループに（国内5社、海外13社）

※2015/11/10売却完了予定



※ V-cube Malaysia Sdn. Bhd.は、本資料公開時点ではV-cube Global Servicesではなく、株式会社バイキューブの100%子会社です。

© V-cube, Inc. All Rights Reserved.

7

iStudy
 システム・テクノロジー・アイ

システム・テクノロジー・アイ社 単体業績

金融庁や大手銀行を中心とした大手企業における導入実績
 差別化された実績のある製品・優良顧客を有しながらも、経営面・
 営業面での課題があり業績が停滞している現状

	FY2014.3	FY2015.3		FY2016.3	(百万円)
	実績	実績	対前期比	同社見込	対前期比
売上	647	542	83.8%	620	114.4%
営業利益	26	-52	-	-	-
経常利益	23	-56	-	17	-
純利益	22	-56	-	16	-

※1 同社見込みは当社（株式会社バイキューブ）による予想数字ではありません。

© V-cube, Inc. All Rights Reserved.

8

システム・テクノロジー・アイ社 単体業績 - 貸借対照表 -

健全な財務状態を保ち、PBR1.2倍かつ総資産の大半が現金

	2015.3.31	買収時見込み (百万円)
流動資産 (うち 現金及び現金同等物) (うち 親会社への貸付)	715 (443) (150)	917 (795) (0)
固定資産 (うち ソフトウェア) (うち 敷金及び保証金)	99 (7) (41)	65
総資産	814	982
流動負債 (うち 短期借入金、1年内返済の長期借入金)	151 (0)	176
純資産	663	806

※ 上記は2015年3月末時点での単体貸借対照表となります。(STI社から現時点で開示されている単体の数字最新)

※ 買収時の見込みについては、主にSEプラスの売却と親会社への貸付の返済の影響を取り込み、当社における試算となります。© V-cube, Inc. All Rights Reserved.

9

システム・テクノロジー・アイ社 について

3つの事業区分から構成されるが、教育セクターにフォーカスした展開
いずれもストック型を中心とした安定した収益構造

クラウド売上
JPY305M
学習管理システム事業 (iStudy ES等)

クラウド売上
JPY51M
研修教材事業 (iStudy)

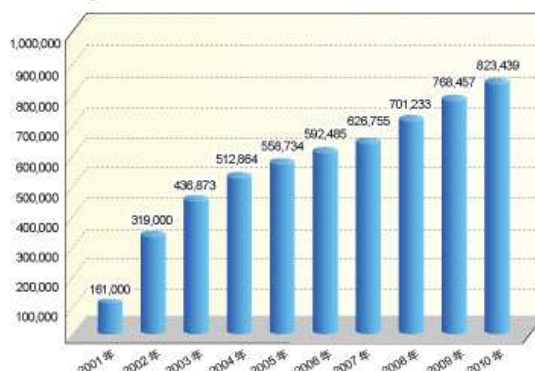
その他売上
JPY186M
研修サービス事業 (Learning)

システム・テクノロジー・アイ社 について

400社以上、累計91万ライセンスの販売実績のiStudyが主力商材
コンテンツを簡単にMS Officeから作れる機能が特に高い評価



iStudyライセンス販売数



© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 11

システム・テクノロジー・アイ社 について

導入実績の例 (iStudy)



その他大手金融機関・官公庁などを中心とした既存顧客を多数有する

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 12

システム・テクノロジー・アイ社 について

導入実績の例（ペーパーレス）



共にブイキューブ・PVCの対象顧客と類似であり、セールスの共有が可能

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 13



“Seeing” Communication
V-CUBE

[成長戦略] 国内シェアの拡大と潜在市場の開拓

業界特化ソリューションの拡大

「単なるウェブ会議」から「VCソリューション提供」への脱却

	一般的な利用シーン	業界特化ソリューション	
文教	V-CUBE	遠隔集合型の双方向授業	Pioneer 電子黒板を活用した教育ソリューション・遠隔講義
製造	PC・タブレット、 スマホを活用した 一般的な遠隔会議	プラントの点検 drone	Pioneer 図面・CAD等を活用した設計現場
公共		インフラ保守・災害対策	Pioneer 災害対策ソリューション
交通	社内研修など、 オンラインセミナー	フィールドエンジニアリング	
金融	遠隔販売・サポート	遠隔窓口、訪問説明、顧客向け説明会	
小売		店長・SV会議、FC募集	
不動産		IT重説	
医療	Web講演会、遠隔医療、オンラインカウンセリング、在宅介護での活用		M-CUBE

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 15

ウェブ会議だけではない、様々な使われ方

ビジネス・生活に組み込まれる様々な使われ方。地方創生のキーとなる活用

オンラインセミナー

遠隔営業

遠隔教育・教育ICT

遠隔医療・遠隔処方箋

どこでも働ける働き方

地方創生・女性の活躍

不動産 IT重要事項説明

ドローン活用

フィールドワーク



クラウド通訳

急増するインバウンドをサポート

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 16

パイオニアVC株式会社

製造設計現場と文教、公共（災害対策）分野に強い製品と実績を有する。
当社グループ入りしてから黒字化達成し、急拡大中。持分比率をアップ



会社名	パイオニアVC株式会社（略称PVC）	
設立	2005年7月1日（連結開始日：2014年5月1日）	
資本構成	株式会社ブイキューブ：85.05% パイオニア株式会社：14.95%（2015年8月7日現在）	
役員構成	原 清	代表取締役社長
	間下 浩之	代表取締役副社長（ブイキューブ執行役員）
	小橋 英治	取締役
	間下 直晃	非常勤取締役（ブイキューブ代表取締役社長）
	大川 成儀	非常勤取締役（ブイキューブ取締役CFO）
	亀崎 洋介	非常勤取締役（ブイキューブ取締役CTO）
	高田 雅也	監査役（ブイキューブ代表取締役副社長）

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 17

パイオニアVC株式会社



ハードウェアとソフトウェアを融合させたユニークなソリューション



© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 18

パイオニアVC株式会社



教育のIT化に向けた環境整備4ヶ年計画による総額6712億円の予算 (平成26～29年度)

目標水準

教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数3.6人
教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の整備
超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%

環境整備

教材用PC 不足分146万台の新規導入及び既存約191万台に係るリース費
電子黒板 不足分40万台の整備及び既存分約1万台の更新に係る費用
実物投影機 不足分33万台の整備及び既存分約1万台の更新に係る費用
無線LAN整備 未整備38万教室に係る費用

国内学校現場に2万台の導入実績を持ち、国内ナンバーワン

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 19

Wizlearn Technologies Pte. Ltd. について

16年の歴史を持つシンガポール最大の教育プラットフォームの提供会社
高い収益性と継続的なビジネスを誇り、シンガポールのデファクト



会社名	Wizlearn Technologies Pte. Ltd. (株式会社ブイキューブの孫会社)
設立	1999年8月24日
資本金	SG\$9,821,954.20
決算期	3月 (12月に変更予定)
資本構成	V-cube Global Services Pte. Ltd. 100% (株式会社ブイキューブの子会社)
役員構成	Director & CEO : Victor Yuk (Wizlearn社にて15年間の経営経験) Director : Tham Siew Keong (Wizlearn社にて7年間の経営経験) Director : Naoaki Mashita (ブイキューブグループCEO、シンガポール在住) Director : Allen Chan (ブイキューブグループの中国・香港・台湾のCEO) Director : Nariyoshi Okawa (ブイキューブグループCFO)
関連会社(100%子会社)	3社 (Pave Education Pte. Ltd., Wizlearn Pte. Ltd., Singaporelearning.com Pte. Ltd.)
従業員数	約137 (2015年9月現在)

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 20

Wizlearn Technologies Pte. Ltd. について

3つの事業区分から構成されるが、教育セクターにフォーカスした展開
シンガポール国外はフィリピンへの展開を開始

教育プラットフォームの開発提供事業

クラウド売上
\$S\$6.6M
(5.5億円)

教育コンテンツの開発・提供事業

クラウド売上
\$S\$1.1M
(0.9億円)

その他教育ICTサービス事業

その他売上
\$S\$3.7M
(3.1億円)

※上記数字は、Wizlearnグループ全体の2015年3月期の実績に基づいています。

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 21

Wizlearn Technologies Pte. Ltd. について

100以上のツールから構成される、15年のナレッジが蓄積された
シンガポール最大手の教育プラットフォーム（導入ユーザ50万人以上）

asknlearn™



一連の買収の教育・研修セクターでのポートフォリオ

K-12（幼稚園～高校）から企業研修、一般研修まで幅広く対応可能に。



K-12を中心としたアクティブ
ラーニング



K-12、ASEANの企業研修を中心



日本企業の企業研修を中心

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 23

教育・研修セクターへのバイキューブグループの戦略

K-12（幼稚園～高校）から企業研修、一般研修まで幅広く対応可能に。

	リアルタイム双方向	オンデマンド/コンテンツ	学習管理	教室内
一般研修	V-CUBE パートナーに供給	V-CUBE iStudy	eラーニング (iStudy) 直接提供。延べ91万ライセンス	iStudy
国内企業	V-CUBE 社内研修 (V-CUBE Seminar)	V-CUBE	学習管理システム (LMS) iStudy Enterprise Server iStudy Cloud	iStudy
海外企業 中国・ASEAN	V-CUBE 社内研修 (V-CUBE Seminar)	ライブ自 動録画 (V-CUBE Seminar) (V-CUBE Video)	Wizlearn Technologies	
塾	V-CUBE 大教室型 (V-CUBE Seminar) 少人数型 (V-CUBE Meeting) 拠点間型 (V-CUBE Meeting)	コンテンツ 作成機能	Wizlearn Technologies 学習管理システム (LMS) 出席管理システム 学校・家庭間コミュニケーション テスト 宿題提出管理 校務情報化の各種機能	Pioneer 電子黒板を利用した アクティブラーニング (xSync)
大学				
高校				
中学校				
小学校				

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 24

本買収によって目指すシナジー

1

ブイキューブ・PVCの販路へのiStudyの展開

2

STI既存顧客へのブイキューブ製品の展開

3

コンテンツクリエイターのWizlearnへの提供

(海外展開・K-12への展開)

シナジーを考慮しない場合、2016年は単体黒字化を見込み、連結上も利益へのインパクトはのれん償却後0を見込む。

シナジーを最大化することによって、利益貢献の実現を目指す。

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 25

本買収によって目指すシナジー

1

ブイキューブの販路へのiStudyの展開

製品連携を実現し、ブイキューブの販路を活用して拡販
拡大する企業の研修ニーズを取り込む



iStudy



V-CUBE
ONE



"Seeing" Communication
V-CUBE

PIONEERVC

M-CUBE

- ・ 5000社以上の既存顧客
- ・ 特に大手既存顧客で顕在化している研修管理ニーズに対応

(今まではSTIとしても営業らしい営業は出来ていなかった)

中期目標

7億円

/年

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 26

V-CUBE ONE との連携

ビジュアルコミュニケーションプラットフォーム

企業のあらゆるコミュニケーションを1つに。



テレビ会議と接続した経営会議



全国拠点への社内研修



遠隔地へのWeb営業



保守点検作業



現場同士の拠点間会議



パートナー向けセミナー



オンラインサポート



フィールドワーク

「単なるWeb会議」から「VCソリューション提供へ」

ミーティング



ドキュメント



セミナー



セールス&サポート



ポータル



V-CUBE Gate



© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 27

V-CUBE ONE との連携

成長戦略の大きな柱となるパッケージ

利用シーンの拡大により利用を全社に広げ、顧客単価を引き上げへ。

1. 全てのビジュアルコミュニケーションサービスをご利用可能。

会議、研修、営業、サポート。企業のあらゆるコミュニケーションを1つに。（他社はほとんどがミーティングのみ）

ミーティング



ドキュメント



セミナー



セールス&サポート



ポータル



V-CUBE Gate



2. iStudyの追加により、企業研修ニーズに完全に対応

V-CUBE Oneは元々、サービスの利用を全社に広げるための利用シーン拡大を目的としています。

研修はそのうち大きなニーズとして存在していましたが、お客様の希望するレベルの教育プラットフォームには至っておらず、チャンスロスが多くありましたが、iStudyの獲得により、企業研修ニーズに完全に対応し利用の幅をの拡大、全社利用の拡大を図ってまいります。（ポート数拡大、ポート単価拡大に寄与）

本買収によって目指すシナジー

2

STI既存顧客へのバイキューブ製品の展開

既に有する大手金融機関を中心とした顧客へのアップセル

オンデマンドからリアルタイムへ

iStudy
システム・テクノロジー・アイ

- ・ 400社の既存顧客
- ・ 特に大手金融機関でのポテンシャル
- ・ 研修だけではなく社内インフラへ



中期目標

2億円
/年

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 29

本買収によって目指すシナジー

3

コンテンツクリエイターのWizlearnへの提供

iStudyコンテンツクリエイターをWizlearnに提供することにより、シンガポール・中国への展開を実現する。



- ・ MS Officeから自分でコンテンツを簡単に作成可能なツールを有する

- ・ シンガポールデファクト
- ・ 中国・その他アジア各国に積極展開を開始

中期目標

1億円
/年

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 30

本買収によって目指すシナジー

中期目標

ブイキューブ・PVCの販路へのiStudyの展開

7億円

STI既存顧客へのブイキューブ製品の展開

2億円

コンテンツクリエイターのWizlearnへの提供

1億円

中期目標

買収により目指す中期的増収効果（年間）

10億円

© V-cube, Inc. All Rights Reserved.

本買収によって目指すシナジー

アジアナンバーワンの EduTechインフラへ

中期目標

10億円

/年

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 32



株式会社バイキューブ 事業概要

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。
従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 33

会社概要

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 34

経営理念

私たちは常に情報通信技術を高度に活用することにより、新しい価値の創造を通じて、より豊かな人間社会の実現を目指します。

ビジョン

アジアナンバーワンの
ビジュアルコミュニケーションプラットフォーム

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 35

会社概要 (2015年9月末現在)

ビジュアルコミュニケーションをクラウドで実現するサービスプロバイダ

会社名	株式会社ブイキューブ	
設立	創業1998年10月16日	
決算期	12月	
資本金	19億700万円	
代表	間下 直晃（ました なおあき）	代表取締役社長
	高田 雅也（たかだ まさや）	代表取締役副社長
役員・従業員数（連結）	336人（2件の買収により、計175名増加予定）	

グループ会社 全13社（国内3社、国外10社）→18社に

上場市場 東京証券取引所市場第一部（3681） ※7/22～

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 36

運営体制 (2015年9月末現在)

グローバル展開を推進する、技術力と営業力を有するVCサービス会社

役員・従業員数	336人 (パート・アルバイト含まず)
日本国内	258人 (VJP194 + PVC64)
海外	78人 (VGS19, VSG2, VCH25, VMY13, VID14, VUS5)
営業・マーケティング	158人
技術者	125人
管理部門	53人 (取締役、監査役、内部監査等含む)
オフィス	13カ所 (国内6カ所、海外7カ所)
データセンタ	14カ所 (日本、米国東、米国西、中国、香港、シンガポール、マレーシア、インドネシア、インド、ベトナム、タイ、フィリピン、イギリス、オーストラリア)

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 37

マネジメントチーム



代表取締役社長 CEO
間下 直晃

1977年 東京生まれ
1998年 当社設立
2000年 慶應義塾大学理工学部卒業
2002年 慶應義塾大学大学院修了
2003年 V-cube USA, Inc. 設立
2009年 V-cube Malaysia 設立
2012年 V-cube@Singapore 設立
2012年 P.T. V-cube Indonesia 設立



常務取締役 CRO CCO
森田 繁

2003年 トレンドマイクロ(株)入社
2007年 (株)サイタスマネジメント
取締役副社長就任
2010年 当社入社、執行役員就任
2011年 当社取締役就任
2014年 当社常務取締役就任



代表取締役副社長
高田 雅也

2001年 (株)ブイキューブインターネット
取締役就任
2002年 慶應義塾大学大学院修了
2006年 当社取締役副社長就任
2013年 当社代表取締役副社長就任



取締役 CTO
亀崎 洋介

2002年 (株)ブイキューブインターネット入社
2003年 Web会議の原型を開発
2007年 当社執行役員就任
2012年 当社取締役就任



取締役 CFO
大川 成儀

1982年 パイオニア (株) 入社
2008年 当社入社
2009年 当社執行役員就任
2014年 当社取締役就任

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 38

マネジメントチーム

経験豊かで強力な社外取締役によるコーポレートガバナンス



社外取締役
村上 憲郎
(株)村上憲郎事務所 代表取締役
元Google, Inc. 副社長
兼 グーグル(株) 代表取締役社長



社外取締役
北城 恪太郎
経済同友会 終身幹事 (元代表幹事)
元日本IBM(株) 代表取締役会長
国際基督教大学 理事長



社外取締役
西村 憲一
(株)ミライト 相談役 (元代表取締役)
元(株)NTTネオメイト 代表取締役社長



顧問
小宮山 宏
(株)三菱総合研究所理事長
元東京大学総長

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 39

バイキューブグループ沿革



© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 40

ブイキューブのミッション

アジアナンバーワンの ビジュアルコミュニケーションプラットフォーム

ビジュアルコミュニケーションとは？

離れた場所を映像と音声で結び、今まで移動して会わないとできなかったコミュニケーションをインターネットを通じて実現します。

コミュニケーションプラットフォーム？

「いつでも」「どこでも」「だれでも」を実現する為の環境が、世界中に当社が展開するクラウド環境で実現されます。あらゆるビジネスのプラットフォームを目指します。

アジアナンバーワン！！

今後成長が著しいアジアのマーケットで、アジアで最も使いやすいサービスを、欧米の押しつけのサービスではなく、アジアの中心である日本から広げていきます。

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 41

ビジュアルコミュニケーションマーケットとは？

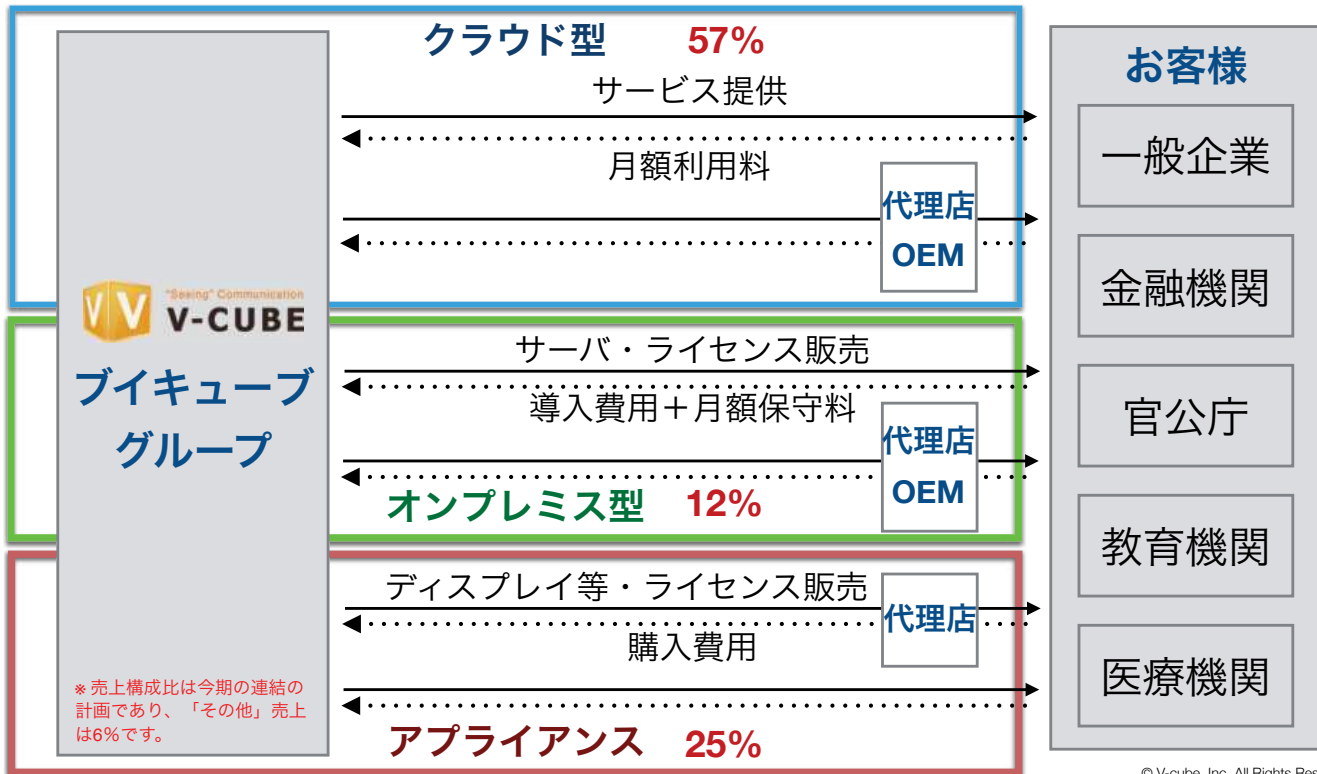
ウェブ会議だけではない幅広い市場

- ・ テレビ/ウェブ会議
- ・ オンラインセミナー
- ・ 営業支援（ウェブ相談）
- ・ 遠隔教育
- ・ 遠隔医療・診断（カウンセリング）
- ・ 映像配信
- ・ オンラインサポート
- ・ その他



ブイキューブのビジネスモデル

法人を対象に、クラウド型を中心としたビジネス展開

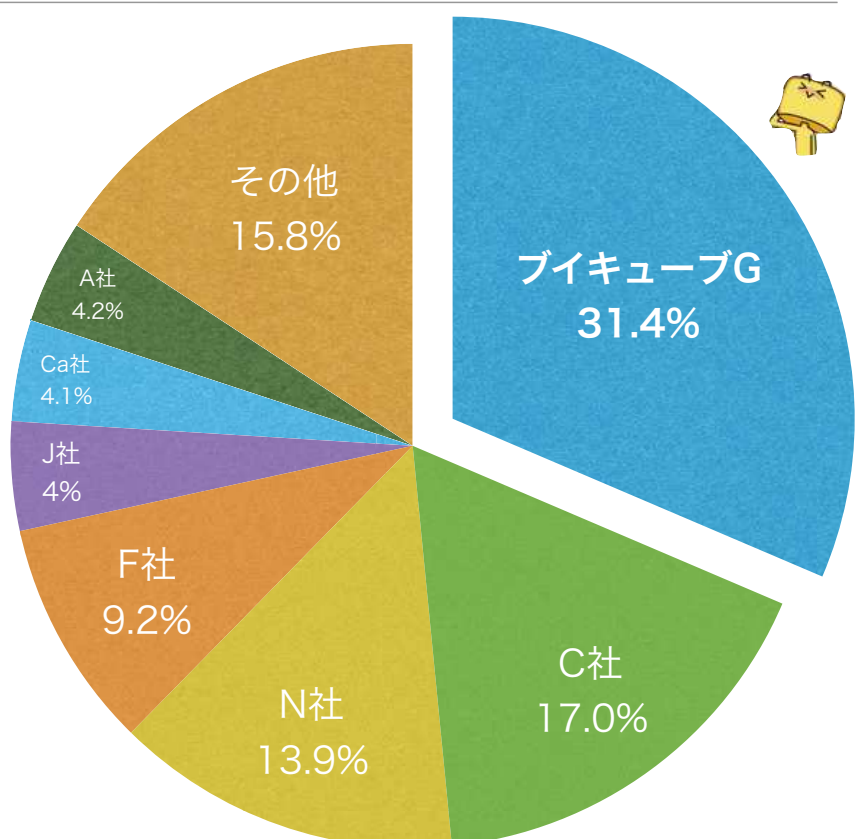


© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 43

市場におけるV-CUBEの強み

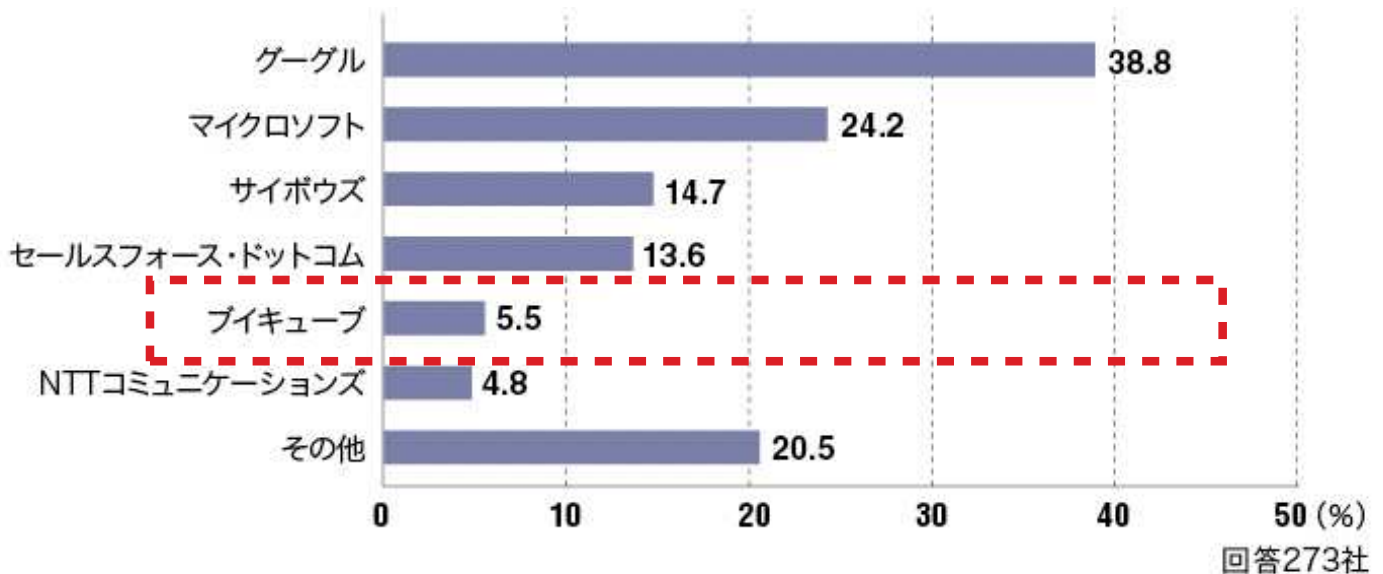
8年連続

No. 1



ブイキューブの国内での知名度も向上中！

企業のサービス提供会社別クラウド利用率 初登場第5位



現在利用中のSaaSサービス提供会社

(日経コミュニケーション 「企業ネット/ICT利用実態調査 2014」)

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 45

V-CUBEサービス ラインナップ

- ・ 7つの基本ラインナップを、各ユーザのニーズに合わせて月額課金で販売

V-CUBE ミーティング

全員の「コスト削減」が「見える」ECO メーカー

業界シェアNo.1の実績。当然、選ばれる理由があります。...

誰でもカンタンに招待、参加できるWeb会議システム。1枚のインターフェース上に多彩な機能が充実。

V-CUBE ドキュメント

情報の「共有」が「見える」

資料を見る、資料に書き込む。ペーパーレスで会議改革。

iPad、Androidなどのタブレットで資料を共有。直観的な操作で、拡大縮小も自由自在。

V-CUBE セミナー

セミナー参加者の「本音」が「見える」

10,000拠点に、同時配信。双方向性が高いから臨場感あるセミナーを実現します。

国内最大規模の10,000拠点まで同時配信可能な資料同期型セミナー。

V-CUBE ボイス

クリアな音声だから「相手の表情」も「見える」

「いつでも、どこでも、だれでも」、クリアな音声での電話会議を実現します。

ネットがつかなくても大丈夫。電話回線を利用して、安定した音声コミュニケーションを提供。

V-CUBE セールス&サポート

サポートの「安心」が「見える」ECO メーカー

1対1のあらゆるシーンで、密なコミュニケーションを実現します。

Face to Faceで密なコミュニケーションが実現できる、セールス&サポートツール。

V-CUBE ビデオ

動画配信の「カンタン運用」が「見える」

動画のアップロードからライブ配信まで、難しい操作は必要ありません。

動画変換と投稿から、ライブ配信まで幅広く対応できる動画配信ツール。

V-CUBE ポータル

コンテンツと受講者の「まとめて管理」が「見える」

V-CUBE のコンテンツを一元管理。多彩な機能でeラーニングにも対応。

V-CUBE で作成したコンテンツの配信・管理システム。

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 46

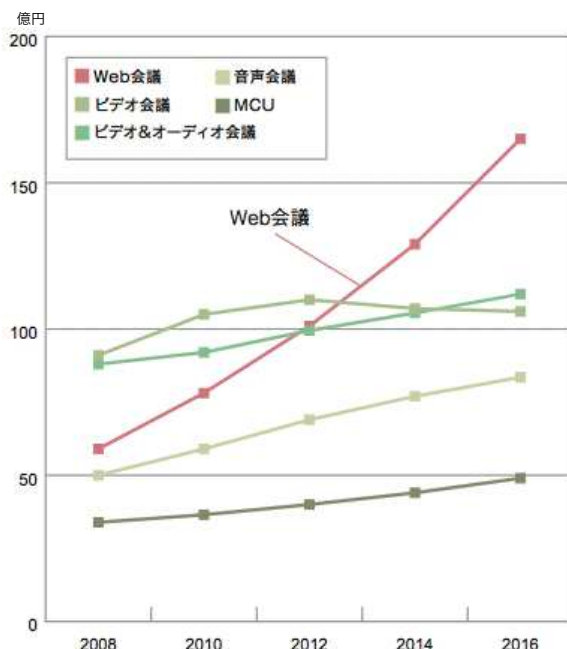
市場環境について

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 47

市場のポテンシャル

ビジュアルコミュニケーション市場は今後の急拡大が見込まれる

映像コミュニケーションの市場規模予測



株式会社シード・プランニング「2013ビデオ&オーディオコミュニケーションの最新市場動向」

日本国における企業規模別分類

	社数	備考
大企業	1.2万社	
中堅企業	53.6万社	中小企業かつ、小規模企業に含まれない会社
小規模企業	366.5万社	製造業：従業員20人以下 サービス業：従業員5人以下
計	421.3万社	

総務省「平成21年経済センサス-基礎調査」中小企業庁再編加工

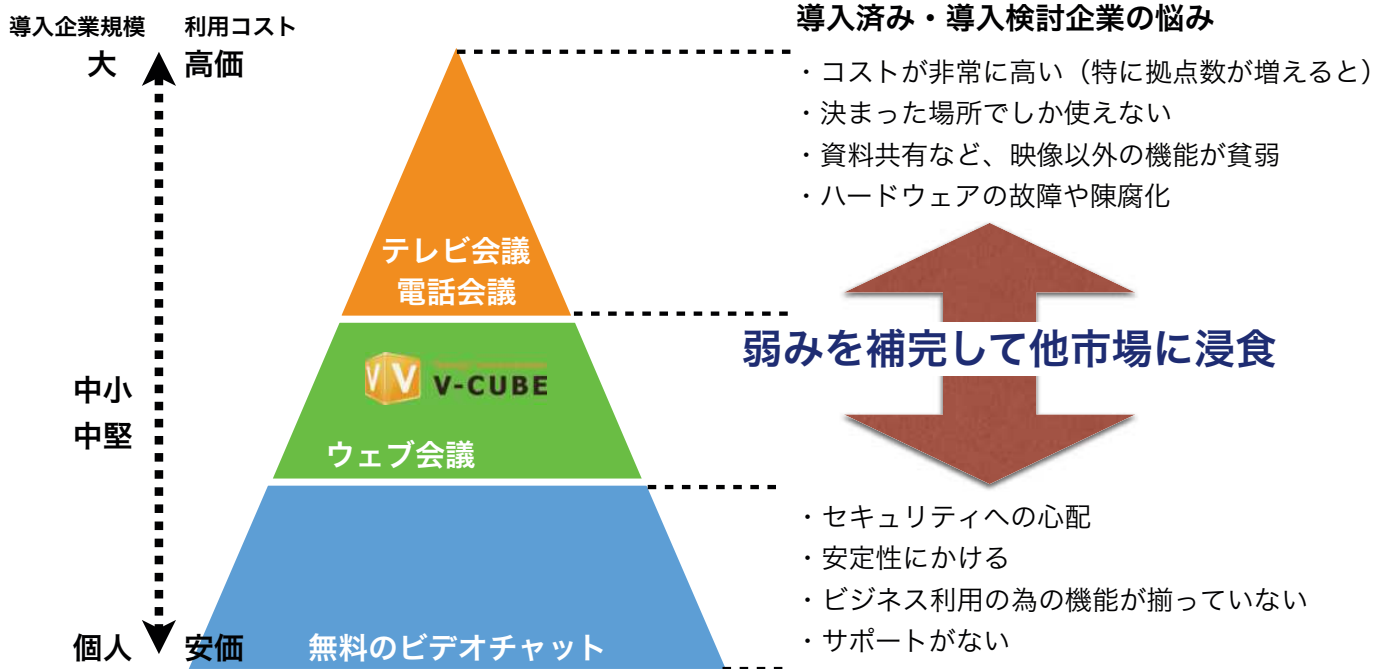
導入社数の拡大余地大

全社導入への拡大余地大

© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 48

市場環境 - ビジュアルコミュニケーションマーケットについて -

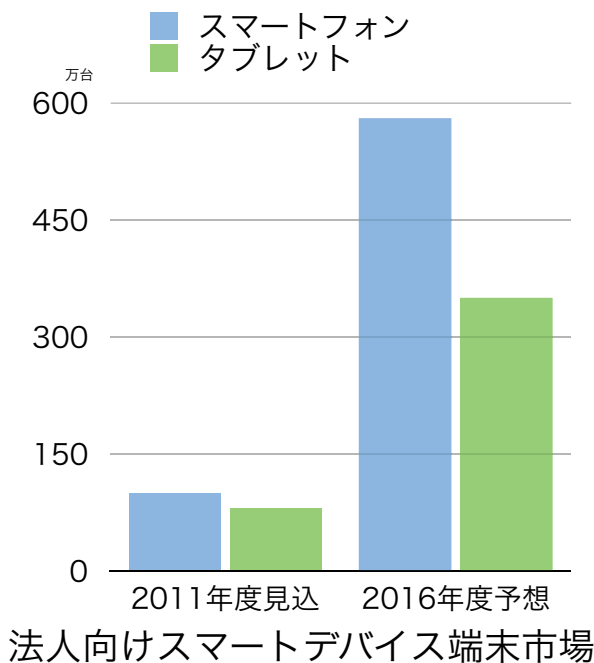
テレビ会議や無料ビデオチャットユーザを取り込むウェブ会議



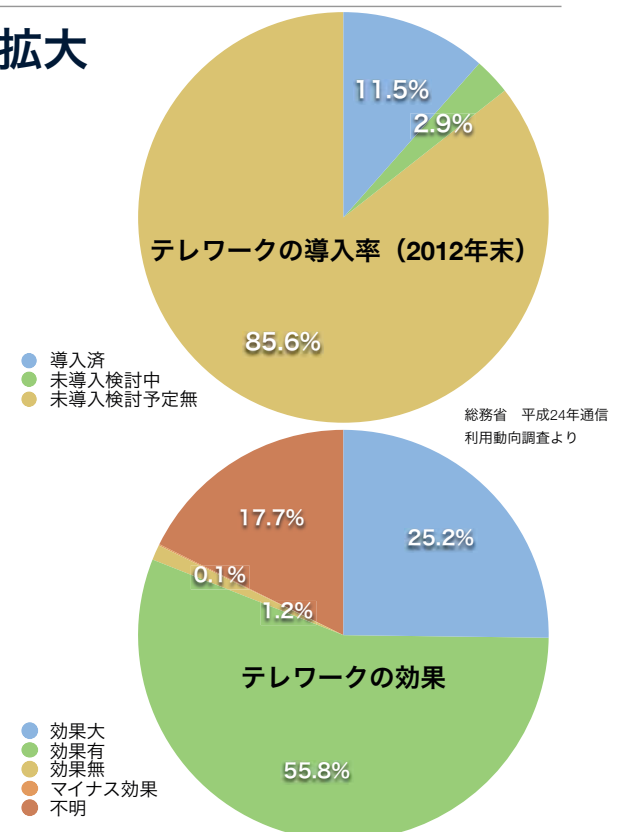
© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 49

市場環境 - 市場を押し広げるスマートデバイスとテレワークの普及 -

スマートデバイスの急速な普及による拡大 テレワーク促進による需要の拡大



フジキメラ総研 2012法人向けスマートデバイス関連ビジネスの全貌より



© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 50

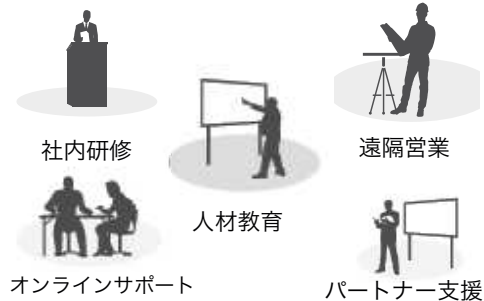
ビジュアルコミュニケーション市場

ビジュアルコミュニケーション市場の成長を牽引する要因。

1. モバイル × クラウドでの利用



2. 会議用途以外での利用



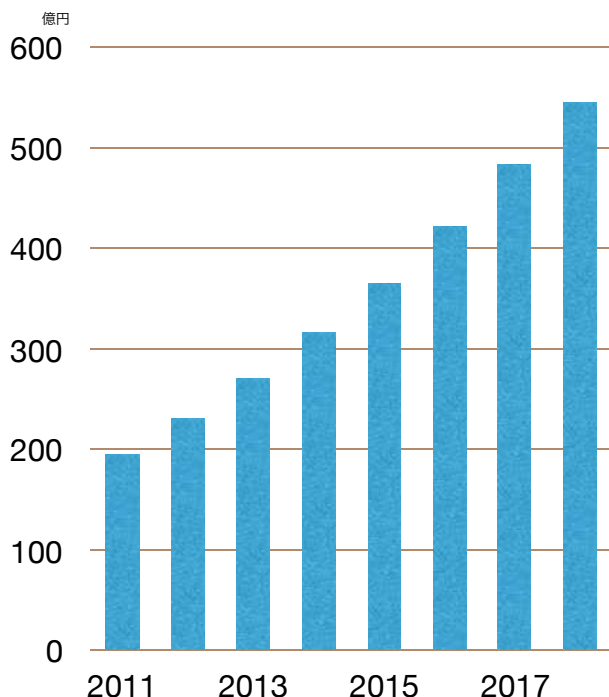
3. 業界特化ソリューションの提供



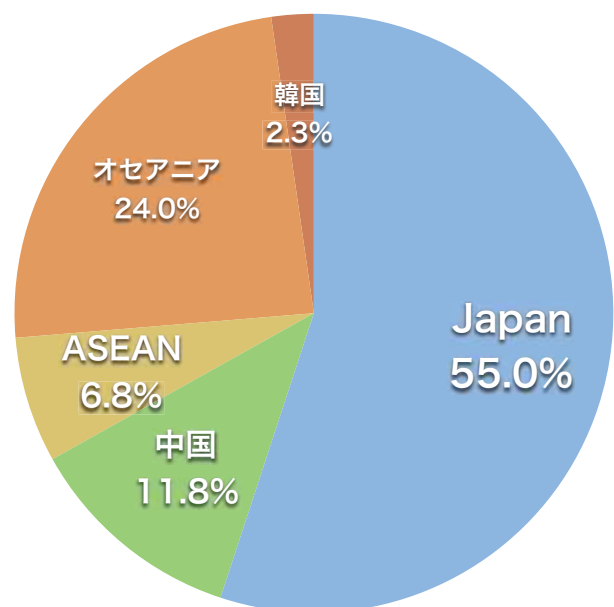
© V-cube, Inc. All Rights Reserved. 51

市場環境 - アジアマーケットについて -

アジアのビジュアルコミュニケーション市場の急拡大と、ASEAN・中国の台頭



APACのクラウド型映像コミュニケーション市場の推移



クラウド型映像コミュニケーション市場の内訳2012年

アジアナンバーワンの ビジュアルコミュニケーションプラットフォーム

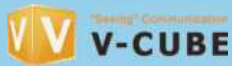


見えるコミュニケーション

V-CUBE



ありがとうございました。



本資料の取り扱いについて

本書は、株式会社ブイキューブ（連結子会社を含む）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。これらの記述は、当社が本書の作成時点において入手した情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポート等をご参照ください。

本書における将来に関する記述は、本書の作成時点のものであり、本書の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本書を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本書における当社以外の企業等にかかわる記述は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社はこれを保証するものではありません。本書で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本書にかかる一切の権利は、株式会社ブイキューブに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。